

建設業 化学物質に係る有害性リスクアセスメント

作業所名		事業者名															
作業		作業区分（定常・非定常）		実施年月日				実施者			承認		確認		作成		

作業名 （機械・設備）	危険性又は有害性と発生の おそれのある災害 *1	既存の災害防止対策	リスクの見積り					リスク低減対策 （案）	残留リスクの見積り					対応措置		備考
			HL 有害性の レベル	EWL 作業環境 レベル	FL 作業時間 頻度	EL ばく露 レベル	優先度 （リスク）		HL 有害性の レベル	EWL 作業環境 レベル	FL 作業時間 頻度	EL ばく露 レベル	優先度 （リスク）	提案 実施日	次年度 検討事項	

1. 有害性のレベル(HL)分け

ハザードレベル				
A	B	C	D	E
	急性毒性(経口): 区分1、2 急性毒性(経皮): 区分1 急性毒性(吸入) 〈ガス&蒸気〉: 区分1 〈粉じん&ミスト〉: 区分1、2	急性毒性(経口): 区分3 急性毒性(経皮): 区分2、3 急性毒性(吸入) 〈ガス&蒸気〉: 区分2 〈粉じん&ミスト〉: 区分3	急性毒性(経口): 区分4 急性毒性(経皮): 区分4 急性毒性(吸入) 〈ガス&蒸気〉: 区分3、4 〈粉じん&ミスト〉: 区分4	急性毒性 (全てのばく露経路): 区分5
		皮膚腐食性／刺激性: 区分1A、1B、1C		皮膚腐食性／刺激性: 区分2、3
呼吸器感作性: 区分1		眼に対する重篤な損傷 ／眼の刺激性: 区分1		眼に対する重篤な損傷 ／眼の刺激性: 区分2A、2B
生殖細胞変異原生: 区分1A、1B、2	生殖毒性: 区分1A、1B、2	皮膚感作性: 区分1		
発がん性: 区分1A、1B、2	特定標的臓器毒性 (単回ばく露): 区分1	特定標的臓器毒性 (単回ばく露): 区分2 (呼吸器系)	特定標的臓器毒性 (単回ばく露): 区分2 (呼吸器系以外)	特定標的臓器毒性 (単回ばく露): 区分3
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露): 区分1	特定標的臓器毒性 (反復ばく露): 区分2		吸引性呼吸器有害性: 区分1、2
				ハザードレベルA～Dに 分類されていない全ての GHS分類 (区分外も含む)
ハザードレベルS				
	急性毒性(経皮): 全ての区分	皮膚感作性: 全ての区分	眼に対する重篤な損傷 ／眼の刺激性: 全ての区分	皮膚腐食性／刺激性: 全ての区分

2. 作業環境レベル(EWL)分け

A: 製造などの量のポイント	3: 大量(トン、kl単位で測る程度の量) 2: 中量(kg、l単位で測る程度の量)	1: 少量(g、ml単位で測る程度の量)
B: 揮発性、飛散性のポイント	3: 高揮発性(沸点50℃未満)、高飛散性(微粉で軽い粉じんの発生する物) 2: 中揮発性(沸点50～150℃)、中飛散性(結晶質、粒状、すぐに沈降する物) 1: 低揮発性(沸点150℃超過)、低飛散性(小球状、薄片状、小塊状、ペレット)	
C: 換気・保護具のポイント	4: 屋外(囲いなし)、送気マスク 3: 屋外(囲い1面あり)、空気・酸素呼吸器	2: 屋内(全体強制換気設備あり)・屋外(囲い2面以上あり)、防毒マスク 1: 屋内(全体強制換気設備なし)、防毒マスク

作業環境レベル(EWL)	a	b	c	d	e
A+B-C	5以上	4	3	2	1以下

3. 作業時間・作業頻度のレベル(FL)分け

作業時間・作業頻度(FL)	i	ii	iii	iv	v
年間作業時間	400時間超過	100～400時間	25～100時間	10～25時間	10時間未満

4. ばく露レベル(EL)の決定

FL \ EWL	a	b	c	d	e
	V	V	IV	IV	III
i	V	V	IV	IV	III
ii	V	IV	IV	III	II
iii	IV	IV	III	III	II
iv	IV	III	III	II	II
v	III	II	II	II	I

5. リスクの見積り

HL \ EL	V	IV	III	II	I
	5	5	4	4	3
A	5	5	4	4	3
B	5	4	4	3	2
C	4	4	3	3	2
D	4	3	3	2	2
E	3	2	2	2	1

6. リスクレベルの定義

リスクレベル5	有害性極めて高い
リスクレベル4	有害性高い
リスクレベル3	有害性中
リスクレベル2	有害性ある
リスクレベル1	有害性やや低い
リスクレベルS	眼と皮膚に対するリスク